

「鳥人間コンテスト」100 kmへの挑戦

風の船乗り  
**東北大学 Windnauts の15年**

2回目の優勝を達成した「来」のフライト



翼の長さは左右で60m以上（ボーイング737と同じくらい）、しかし重量はわずか15kg程度



10月～4月の期間、機体作成にかかりきりになります



GW頃から7月半ばくらいまで東北大学グラウンドや角田滑空場でフライト練習と整備

Windnautsのプロフィール

- 現役員数…約30名(2009年4月現在)(工学部中心に理・文・法など、3年生まで)
- 顧問の先生…大林茂教授(流体科学研究所)
- 練習の場所…川内北キャンパスグラウンド 角田滑空場



「鳥人間コンテスト」本番

「鳥人間コンテスト」挑戦の歩み

1993年	学生会準加盟団体として創部(1年生3人)	( )内はパイロット
1997年	「政宗」機体の書類審査初合格	
1998年	「政宗」で初参加、44.41m(工学部・鈴木大晋)	
2000年	「Firstlady」で113.248m(工学部・隅川真由美)	
2001年	「風人」で1,709.5m(工学部・渡辺真洋)	
2003年	「Migra」で24,823.01m(工学部・中谷好博)で、初めて3位入賞	
2006年	「研～echo～」で28,628.43m達成(工学部・宮内空野)、初優勝	
2008年	「来」で36,000mの大会新記録達成(工学部・西脇涉)、2回目の優勝	



詳しい活動ぶりはホームページをご覧ください

[URL] <http://www.windnauts.sakura.ne.jp/what/>

らします。部員たちは、就職活動の中で、その経験、ドラマを熱く語り、機械系メーカーや航空会社など希望の就職を実現しています。

そして、OBの結束が強いのも自慢です。OBは延べ100人を超える程度ですが、OB会報を発行し、同窓生間のメーリングリストをつくり、仙台を会場に隔年でOB会も開催。現役組は寄附を受けると同時に、技術的な問題やクラブ運営上のアドバイスも受けます。

Windnautsは、これらの結束の上に、広範な工学分野の総合というだけでなく、自然環境に調和し、共存することを基本的なコンセプトに、チャレンジを続けているのです。

「3、2、1、GO!!!」の掛け声でペダルを回し、手作りの飛行機で琵琶湖に飛び出してゆく様子をテレビで見たことがあるのではないのでしょうか。読売テレビが主催する「鳥人間コンテスト選手権大会」です。東北大学Windnauts(「風の船乗り」)は1998年に初参加して以来、2006、2008と2回の優勝を果たしています。2008年には悲願の琵琶湖往復を達成しました。

残念ながらこの1月に2009年度の開催中止が決まってしまう、今年はWindnautsのチャレンジも見られませんが、しかしWindnautsは、日本記録49,178m(日本大学)、世界記録115kmへの挑戦を諦めてはいません。

「自らの力で空に挑む」をモットーに  
資金集めも、製作も学生だけで

完全に自作で、自力で離陸し、人力を動力にして空を飛ぶのが「人力飛行機」です。

その設計・製作には航空力学や機械工学、材料力学を駆使し、人力を最大限利用するために人間工学、運動工学的観点からも最適化する必要があります。

そのために東北大学Windnautsは、主構造となるカーボン繊維強化プラスチックのパイプも自作しながら、●操作性を十分に考量した空力設計、●圧倒的な軽量性、●高い剛性●パイロットのエンジンとしての性能、●風を読み切ったフライトプランニングといった「空力・構造・エンジン」3要素のハイレベルでのバランスを目指しています。

そして何よりの自慢は、これらを研究室単位で行うのではなく、工学部以外の学部も含めた3年生までの学生が、自分たちだけで取り組んでいるということです。

毎年「OB会」も開催  
OBからの寄附も大事な資金になる

自分たちでという姿勢は、その後の進路にも好影響をもた



工学部キャンパスでは「重子的小径」を見つけました。アイインジエタイン博士が来学した時の記念写真を使った標識が目印になっています。ほかに「XXの小径」があれば情報をお寄せください。



川内北キャンパスを歩いていて、講義棟や事務棟の間に園芸部の「はたけ」を見つけました。キャンパスが広い上に、学生の自主活動に寛大な東北大学ならではの光景ですね。



川内北キャンパス・サブアリーナのBee AREANA Café、川内南キャンパスの喫茶ルポー、工学部キャンパスのこもれびカフェ、理学部キャンパスのレストランAOSISなど、生協食堂とは別のオシャレなレストランも増えています。

アメフト部 HORNETS

プロリーグトライアウトに挑戦中の先輩もいる

アメフト部 HORNETS

スズメバチ

アメリカンフットボールとは

アメリカンフットボールはスポーツ大国アメリカでNO.1の規模・人気を誇るスポーツです。特に世界最大のプロリーグ、NFL(National Football League)の年間王者を決めるスーパーボウルは、合衆国大統領もその執務を中断して観戦すると言われ、世界最大級のスポーツイベントとして有名です。

日本におけるアメリカンフットボール

アメリカでは不動の人気を誇るアメリカンフットボールですが、日本での知名度はそれほど高くありません。しかし、過去3回開催されたWorld Cupで優勝2回、準優勝1回という成績を残したように、世界に誇る実力を持っています。

東北大学HORNETSとは

今年で創部30周年、東北大学では比較的新しい学友会です。

しかし、東北学生リーグ優勝24回、北日本学生王者14回(どちらも史上最多記録)と、東北大学唯一の実績を誇る名門チームです。約600人のOB・OGからなる「蜂友倶楽部」との交流も盛んで、年2回開催されるOB総会では、現役、OB・OG間で「強いHORNETS」を造り上げるための議論が活発に交わされます。また、OBにはNFLを目指して渡米中の萩山竜馬(2006卒)、社会人Xリーグ(国内最高峰リーグ)で2年連続リーディングラッシャーとなった佐藤昭一郎(2004卒)など、日本を代表する選手が複数います。

日本一への挑戦

今年のHORNETSの目標は「日本一」。これまで、東北大学には年間学生王者決定戦「甲子園ボウル」への出場権はありませんでした。しかし、過去の実績が認められ、今年から東北リーグを制すれば「甲子園ボウル」への切符をかけた全国大学選手権への出場権を得ることが出来ます。「学生時代に日本一を目指せるなんて最高に幸せ。」「やるからには本気で勝ちに行く。」などHORNETSの選手達はこの「日本一」という目標に対して意気軒昂。本拠地の川内グラウンドでは、「日本一」を目指す選手達の熱い咆哮が今日もこだましています。

HORNETSの主な歩み

1979年	同好会として創部
1981年	東北学生アメリカンフットボール連盟準加盟
1982年	東北リーグ優勝。同連盟正式加盟
1984年	東北大学体育部に昇格
1986年	北日本王座決定戦パインボウル、全国地区対抗戦ともに初優勝、黒川杯受賞
1994年	シーホークボウルトーナメント出場準決勝で関東代表・法政大学に敗れる
2008年	東北リーグ9連覇、パインボウルに勝利し、14回目の北日本学生王座に

HORNETSのプロフィール

- 現役員数…56名(2009年4月現在)(工学部が7割くらい、残りが医歯薬を除く各学部学生/各学年20～30名)
- 顧問の先生…池尾 恭一
- 練習の場所…川内総合グラウンド(水・木・土・日曜に練習)
- 所属リーグ…東北リーグ1部(仙台大学、弘前大学、岩手大学、秋田大学)
- ※東北学院大学、東北工業大学、山形大学、日大工学部、北里大学水産学部が2部
- ※リーグ優勝すれば、北海道リーグ、関東リーグ優勝チームと東日本代表決定戦へ



▲第23回 PINEBOWL 優勝

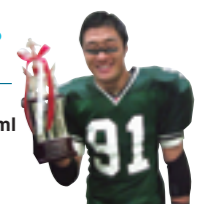


川内総合グラウンドでの練習



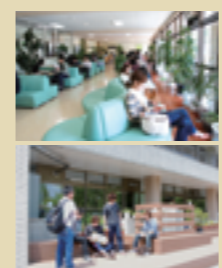
練習見学、イベント参加等、大歓迎!! クラブ紹介のパンフレットやルールブックも差し上げます。

[URL] <http://hornets.fc2web.com/index.html>  
[E-mail] [herausforderer@woody.ocn.ne.jp](mailto:herausforderer@woody.ocn.ne.jp)  
(笠原諒平さん)



Column

在学生のクラブ活動に、交流に、くつろぎに、キャンパス環境の整備は進んでいます



川内北キャンパスの談話室は、学生に活用されています。



整備が進む川内北キャンパスの中でも、特に目立つのがサブアリーナの建物。サブアリーナは、体育の授業にも、剣道、居合、柔道などのクラブ活動にも利用されています。

